

## 2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/大学院工芸科学研究科（博士後期課程）/大学院工芸科学研究科（博士後期課程）： /Graduate School of Science and Technology (Doctoral Programs)/Graduate School of Science and Technology (Doctoral Programs)	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/造形科学域/デザイン科学域 : /Academic Field of Architecture and Design/Academic Field of Design	年次/Year	/1～3年次/1～3年次 : /1st through 3rd Year/1st through 3rd Year
課程等/Program	/デザイン学専攻/デザイン学専攻 : /Doctoral Program of Design/Doctoral Program of Design	学期/Semester	/通年/通年 : /All year (Spring/Fall)/All year (Spring/Fall)
分類/Category	/授業科目/授業科目 : /Courses/Courses	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	83329907			
科目番号 /Course Number	83360017			
単位数/Credits	4			
授業形態 /Course Type	演習 : Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	価値創造学特別演習Ⅰ : Special Seminar on Axiology and Curation I			
担当教員名 / Instructor(s)	/デザイン学専攻関係教員 : Related teacher of the Doctoral Program of Design			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	D_DS7630			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>価値創造学特別演習Ⅰおよび価値創造学特別演習Ⅱでは、美術、建築、デザインなどさまざまなジャンルの作品、作者についての、その「価値」を多様なアプローチにより、あらためて「創造」することを目指す。そのためには、作品をめぐるディスカッションや作品についてのプレゼンテーションが重要な位置を占める。とくに、美術工芸資料館を活用しての「展示」についても、プレゼンテーションの手段として積極的に活用してゆく。</p> <p>受講生は、みずから興味をもつ作品・作者について、歴史的背景、芸術的背景、文化的背景などを研究することはもちろん、その成果をどのように客観化し、他者へ伝えることができるかも考える。</p>
英	<p>In Special Seminar on Axiology and Curation I and II, we aim at the creation of the value of art, architecture, design. To that end, the presentation and the discussion about art works occupies the important position.</p> <p>The attendance must make the result objectively and tell it to others correctly not to mention studying a historic background, an artistic background, a cultural background about a work.</p>

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	<p>受講生は、みずから興味をもつ作品・作者について、歴史的背景、芸術的背景、文化的背景などを研究することはもちろん、その成果をどのように客観化し、他者へ伝えることができるかも考える。</p>

英	Students will not only research the historical, artistic, and cultural backgrounds of the works and authors they are interested in, but also consider how they can objectify and communicate their findings to others.
---	--

## 学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)

日	
英	

## 授業計画項目 Course Plan

No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	ガイダンス 多様なアプローチの提示
	英	1st	Introduction
2	日	第 2 回	特別演習 受講生は、みずからが対象としてあつかう作品・作者などについて、基礎的な情報をまとめ、それについて発表し、ディスカッションをおこなう。
	英	2nd	Advaced seminar
3	日	第 3 回	特別演習
	英	3rd	Advaced seminar
4	日	第 4 回	特別演習
	英	4th	Advaced seminar
5	日	第 5 回	特別演習
	英	5th	5th
6	日	第 6 回	特別演習
	英	6th	Advaced seminar
7	日	第 7 回	特別演習
	英	7th	Advaced seminar
8	日	第 8 回	プレゼンテーション 01
	英	8th	Presentation 1
9	日	第 9 回	プレゼンテーション 02
	英	9th	Presentation 2
10	日	第 10 回	プレゼンテーション 03
	英	10th	Presentation 3
11	日	第 11 回	プレゼンテーション 04
	英	11th	Presentation 4
12	日	第 12 回	プレゼンテーション 05
	英	12th	Presentation 5
13	日	第 13 回	総合討議
	英	13th	Disccution
14	日	第 14 回	総合討議
	英	14th	Disccution
15	日	第 15 回	総合討議
	英	15th	Disccution

## 履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

## 授業時間外学習（予習・復習等）

## Required study time, Preparation and review

日	受講生の積極的な参加が前提となる。実習でおこなった作業、指摘された問題点については各自復習をして、つぎの実習に備えること。
英	Need active participation

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	出席が 70%以上であること
英	Need to attend the class more than 70%

留意事項等 Point to consider	
日	
英	